



NO.1255

2月16日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三二四四五八
F 四三二四四七七



学校給食の民間委託に係る予算計上を断念か

北海道新聞8日付の記事では、「網走市教育委員会は、学校給食の調理業務を一部民間委託するための学校の改修費を新年度に予算計上することを断念した。理由は民間委託する計画について、市民の理解が得られていないことから、市は市民の理解が得られた時に補正予算を計上したい」と報道していました。

5日に開催された文教民生委員会では、民間委託について教育委員会に対して調査を行いました。この間、学校関係者、保護者への説明をしてきてたが、議会への説明がなかったためです。

議会は、市の政策決定の承認機能ではありません。市民から出された不安や疑問、意見を議会で議論するのが議員の仕事です。

この日の文教民生委員会では、委員から教育委員会が民間委託を決めた経過や進め方は、6年前の親子給食の議論同様、議会軽視だと指摘しました。

また、「民間委託して何か良いことがあるのか」「民間は儲けを出さなくてはならないから、食材は今までのように市が指定するのであれば、今より給食調理にかかる費用が増えるのは目に見えている」「民間に委託すれば給食が安定して供給することができるといいうが撤退だつてあり得る」「管理栄養士の指示を受けて給食調理するのであれば、市の給食調理室を使って、市の指定の食材を使うのだから、この民間委託は委託会社が労働者を派遣するだけの偽装請負になるのではないか」など、厳

しい指摘が、次々とありました。

毎日の給食を食べることで、食の大切さを学び、地産地消で網走のことを学び、給食調理員さんとのふれあいは、網走の宝である子どもたちを豊かに育ててくれています。

引き続き、保護者や市民の皆さんの声を聞き、学校給食の在り方について考えていきたい。また、民間委託中止の署名に取り組んでいきます。ご協力のほど、お願いします。

勤医協友の会 懇親会開かれる

勤医協友の会網走北ブロックは、2月8日に、オホーツク勤医協の菊地院長を招いて懇親会を行いました。

昨年10月に赴任した菊地憲孝院長は、呼吸器専門の内科医です。大学時代にはラグビーをしており、足を痛めた会員さんその場で見てくれて、気さくな優しい先生でした。今年には医療懇談会にも参加したいと話してくれました。



食事をしながら、スライドを使い、オホーツク勤医協の成り立ちやスタッフ紹介などの説明を受け、今年も会員を増やして頑張ろうと決意を固めました。

ストップ！戦争法 網走の会

定例宣伝行動
2月22日(土) 11時

安倍政権は、7日に退官する予定だった黒川検事長の定年

延長を先月31日に閣議決定しました。検察庁法は、検察官の退官を63歳(検事総長は65歳)と定めています。異例の定年延長に対し、官邸に近いとされる黒川氏を検察のトップの検事総長に据えるための人事ではないかと疑念があります。この黒川氏の定年延長問題はネットの中でも「こんなことまで安倍政権はするのか、三権分立が壊れた」などの批判の声が上がっていました。

10日の衆議院予算委員会で、立憲民主党の山尾志桜里議員は、安倍政権が定年延長を閣議決定した問題を取り上げ、「法的根拠がなく違法だ」と迫りました。政府は、「国家公務員法の規定」を根拠に勤務延長を合理化しています。山尾氏は、1981年の同法改定の議論で政府側が、検察官については「今回の定年制は適用されない」と答弁していることを指摘しています。「黒川氏を検事総長に任命することは出来ない」と山尾氏がただしたのに対し、菅官房長官は、これを否定しませんでした。どうする安倍さん…



先日、行われた新春のつどいで、参加された後援会員や支持者の方々へ、ごあいさつが十分にできなく、大変失礼しました。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

1年前には必ず2議席にすると誓い、皆さんの応援をいただいた。あいさつが一番大事なのに会の進行のことが気になってしまった。来年はちゃんと準備しなければならぬと思う。昨年より参加者は増え、日本共産党への期待を強く感じた。その期待や切実な要望に応えなくてはならない責任が私にはあるのだ。まだまだ力は足りないが、伊豆の学習会館に登った時を思い出し、要求を背負って一歩一歩進んでいこうと思う。



後援会の方がたたくてくれた太鼓は力強く、参加者はくぎづけになって見ていた。私も頑張ろうと思う。「パプリカ」の花言葉は「君を忘れない」、また来年も会いましょう。

流水

網走にも冬が来た。流水が来て道の駅の駐車場に並ぶ観光バスを見る。年と安堵する。年末に流水観光船

「おーら」で働いているという男性と話をしたが、「流水が来るまでは別な仕事をしている」とのことだった。あの方もきつと待ちどうしかっただろうと思う。今月8日(9日に行われた)「流水まつり」は、雪不足のため大幅に変更されてしまった。「冬に雪が当たり前」と考えられなくなりつつある。▲その原因が「気候変動」にある事を多くの科学者が指摘しているが、それを認めない政治家に世界の若者が声を上げている。EU(欧州連合)の外相がこの若者たちを「グレタ症候群」と発言し、厳しく批判され謝罪している。▲集計がされた2018年の自然災害による経済損失は、台風21号と西日本豪雨でおよそ2兆5000億円になる。なんとなく「ひどい」と眺めているだけでは一歩も進まない。今私にできる事は何か? 「プラゴミを減らす、サランラップを使い過ぎているかな」▲6日、国内環境NGOなどが参加する「CAN JAPAN」は政府に温室効果ガス削減を求め記者会見をした。「石炭火力発電所建設を国内外で進めているのはあり得ない」と厳しく指摘していた。K・なおこ